

## 第110回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和7年7月28日（月）13：55～14：56
2. 場所：KKRホテル東京 11F 孔雀
3. 参加者：神野委員長、宇野委員、小野委員、白須委員、玉木委員、中嶋委員
4. 議事要旨

運用の状況及び運用リスク管理の状況（令和7年度第1四半期）について

事務局から、厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和7年度第1四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・国内債券のプラスについては預託金の影響が大きく、預託金が減少していく中で、代替となりリターンが得られるものを引き続き検討されたい。
- ・外国株式のアクティブ運用について、現存するファンドはディフェンシブ性のあるファンドが多い。デフレのときはディフェンシブでもよかったが、インフレの時代になり、インフレに対応した銘柄選択が必要。
- ・リスク管理について、トランプ関税の影響で推定トラッキングエラーが一時的に跳ね上がったが、結果としては低い水準で収まったことは評価に値する。

以 上